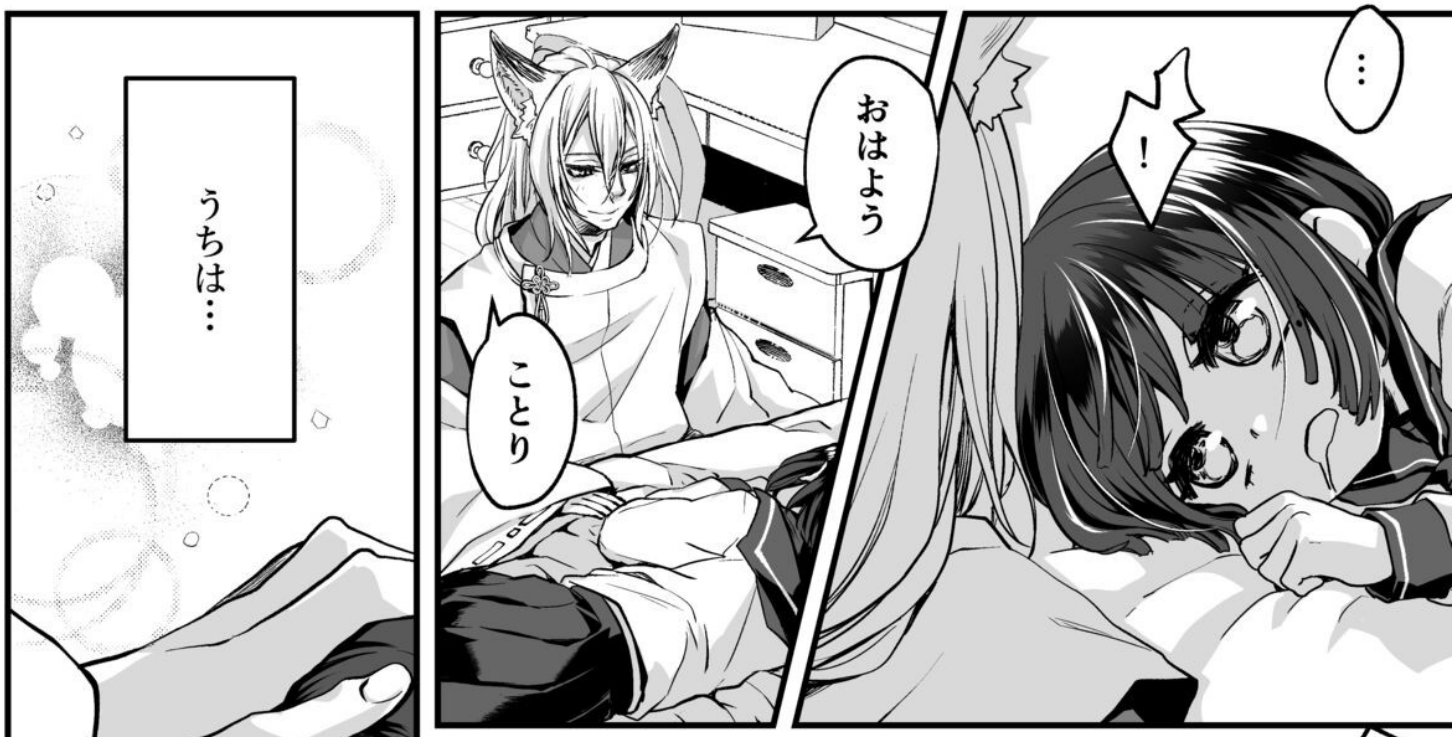
御狐様は理性がもたない

202203XX

揚げ浸し///申着玉子
Twitter///@kincyakutamago

ふふ
いい子いい子
そうなの、
ことりは
來佳さまの
お嫁さんに
なりたいのねぇ
えへへ
あらあら
そんなに
來佳さまが
好きなの？
大好き♡
ふふ

大好きか
嬉しいことを
言ってくれるなぁ


…
！
おはよう
ことり

うちは…
ぽん

ねっ
寝顔は見ないで
欲しいって〜〜っ
あぁあ……
よだれも
出てるうっ
はは
スマンスマン
可愛いので
ついな

我が家は

代々お狐様を
祀る家系である

何でも昔
川の氾濫だか
土砂崩れだかが
起きたときに

神通力を使って
助けてくれたお狐様に
大層感謝したという
ご先祖様が…

御狐様の為に
社を建てて
祀る、と約束
したんだそうだ

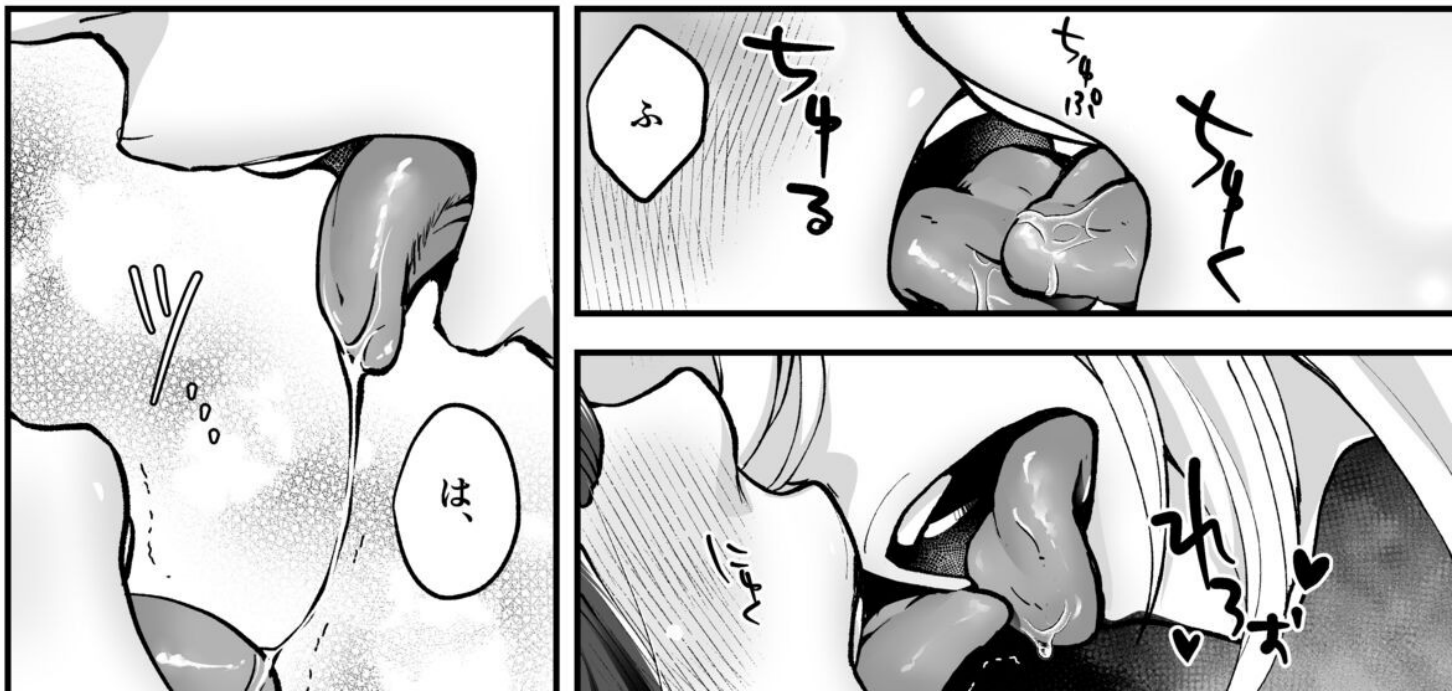
そして

さあ ことり

今日も
稽古をしようか

ギシ…

十日後の誕生日…
私はこのお狐様に嫁ぐことが決まっている
ちゅっ
ちゅ
ちゅく
ん


ちゅく
ちゅぷ
ちゅる
ふ
は、

大分馴染んではきたが…まだまだ未成熟…
ん
すぅ…

あ
はぁ
スー
スー

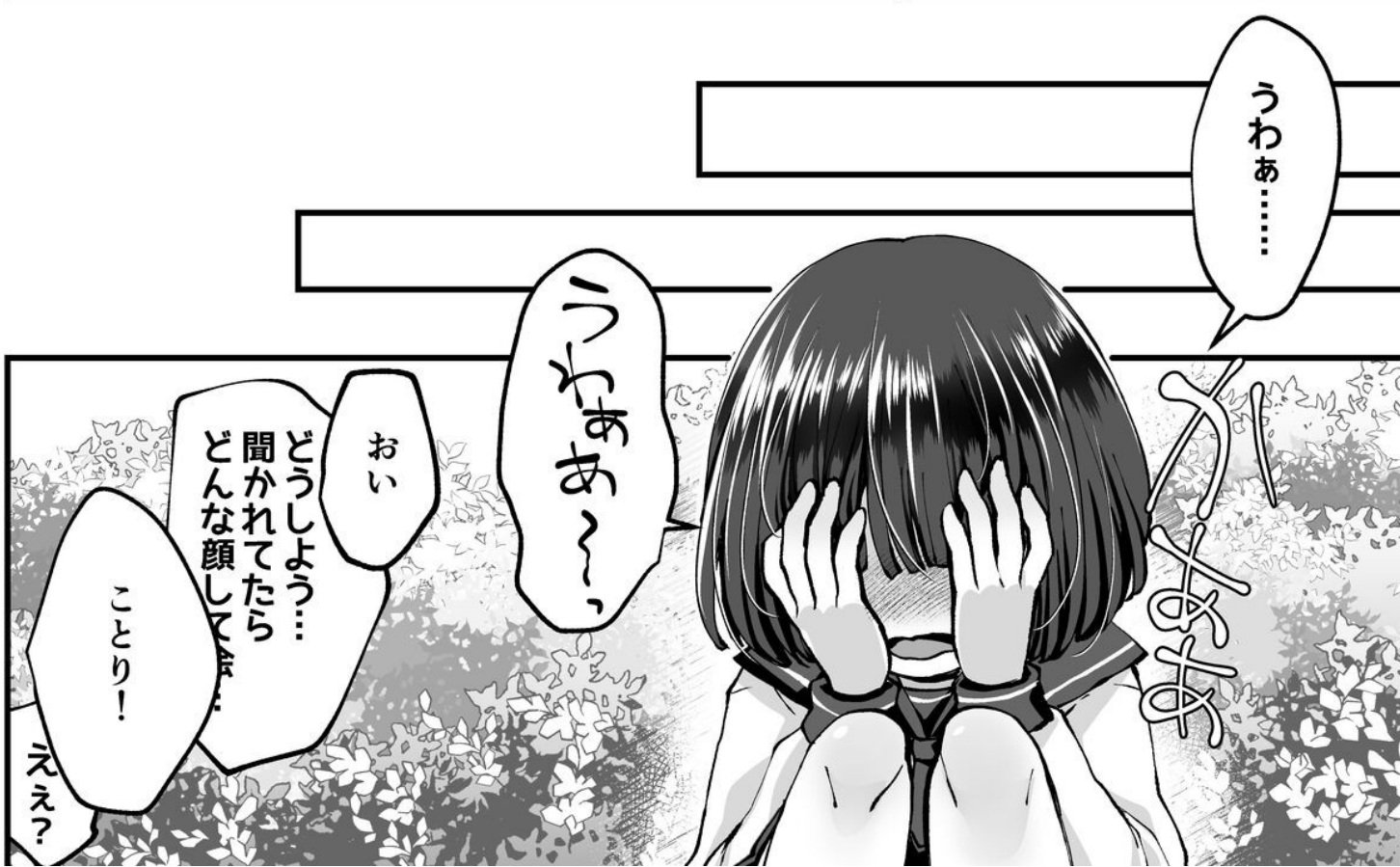
ふふ♡しっかりと慣らして
ひっ
耳やだぁ
ん
あっ
むにぐにすりすり
『気持ちいい』を覚えようなぁ♡

あ…ねぇ
胸、は
わかるけど
何でいっつも
お腹…押したり
するの…？
そんな
ぷにぷにしては…
多分…
ぷに
さわ…
はあ…っ

あっ
ぷに
知りたがりで
可愛いなぁ
いいよ、
教えてあげる
ここに
ぐいっ
全身の
「気持ちいい」を
集めるんだ
どわぁ
ふふ
早く
注ぎたい
ものだ…
びくっ
びくっ
びくん♡

昨日はこんな事…なかったのに…
ぜーんぶ
ことりが…
あ…何でこんな……っ
気持ちいい
場所だよ
知っているか？
んぅ
ぐぽっ
口内や首筋
あ
もちろん耳も
ふふ♡
雌の匂いが
するね
すっかり
ねぇことり
蕩けてしまった
みたいだ…
トン
トン
オイ

わ、わたしトイレー!!
おいっ
メシ…
…チンタラしてねーで早く来いよっ
あートイレトイレぇ
ヨロ…
…ねーちゃんにあんま変な事すんなよ
ふふ
素直じゃないなぁ


うわぁ……
うわぁあ～っ
おい
どうしよう…聞かれてたらどんな顔して会…
ことり！
ええ？

貴女が
いつまでも
来ないから
うわぁ！
主様がずっと
お待ちに
なってるん
ですよ!?

ご、ごめんね
松葉くん
うぅぅ
あ…あなた
そんな匂いを
振りまいてっ！
ハレンチな！
うぇえええ
なに!!

ハレンチな
ニオイ!!
ああぁああっ
だって…だって下着を
変える暇が無かったからぁっ
ヤアアアア

主様の嫁にと云うのに…
誰彼構わず誘惑するなんて…
ワァ
してない
してない!!!
あまりことりを虐めないで欲しいなぁ？
私の大事な伴侶だよ？
すりり
ふふ…虐めてしまうのも本能かな？
さっ
さっきまで來住さまと儀式の練習をして……ね
ぐっ
と、とにかく未熟なうちは主様に相応しくは…
あ
へぇ
ッ
びくぅ
……あの
なっ
何を…
ぐぐっ
アアア

わぁっ
ボフン
ボッ
ボクは
ことりなんて
何とも…
うわあああん!!
嵐のようだ…
ありゃー
さて
あぁ…
ことり
ねぇ
知ってる
だろう?
ドキドキ
狐は嫉妬深い

え
あ、
あれ？

ふふ
松葉を誘惑する
なんて…
いつからそんな
悪い子に
なったんだい？

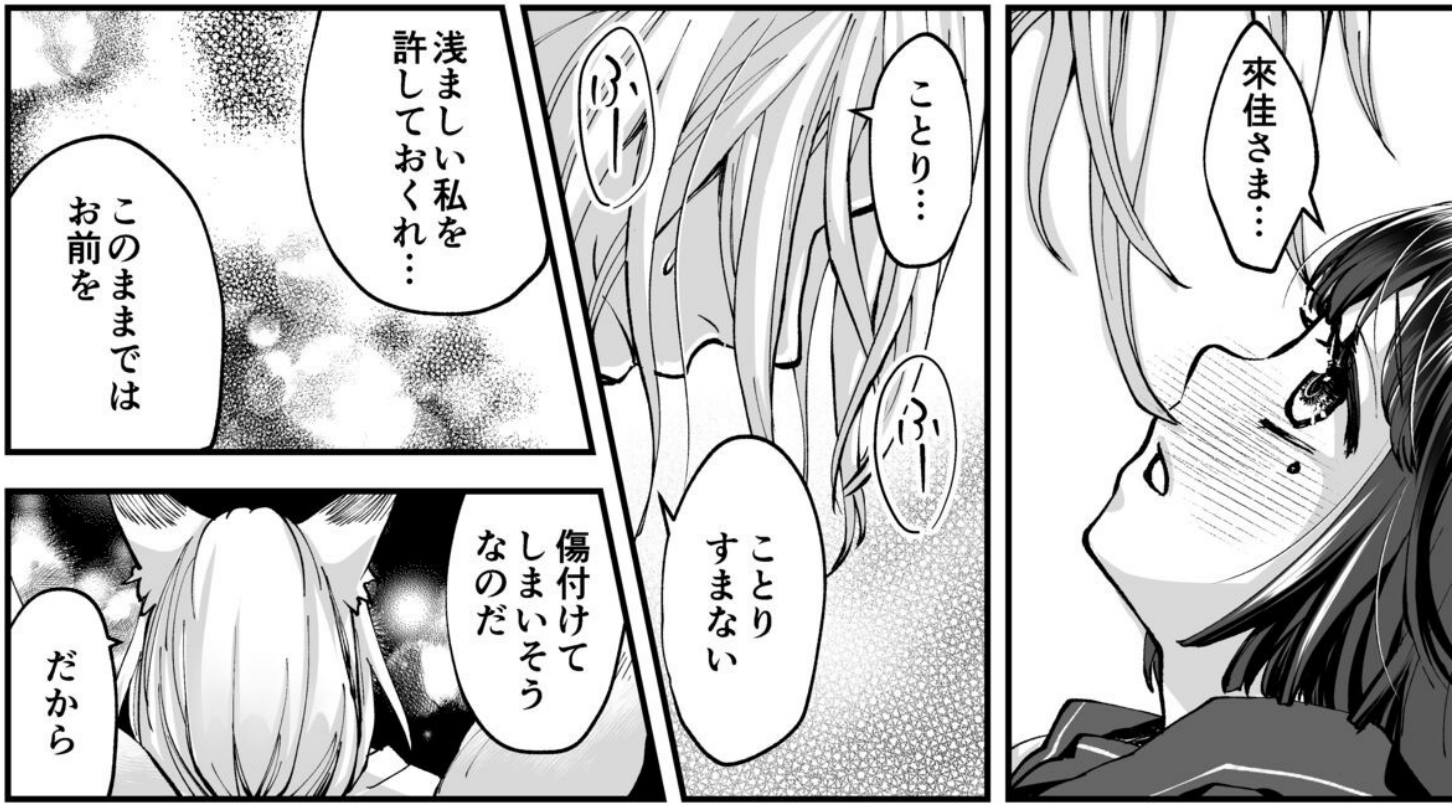
ああ…
これは…ちょっと
すり
狭量な自分が
嫌になるね…

そんな…
どわ
どわ
すりり…
うん
分ってる、
わざとじゃあ
ない…

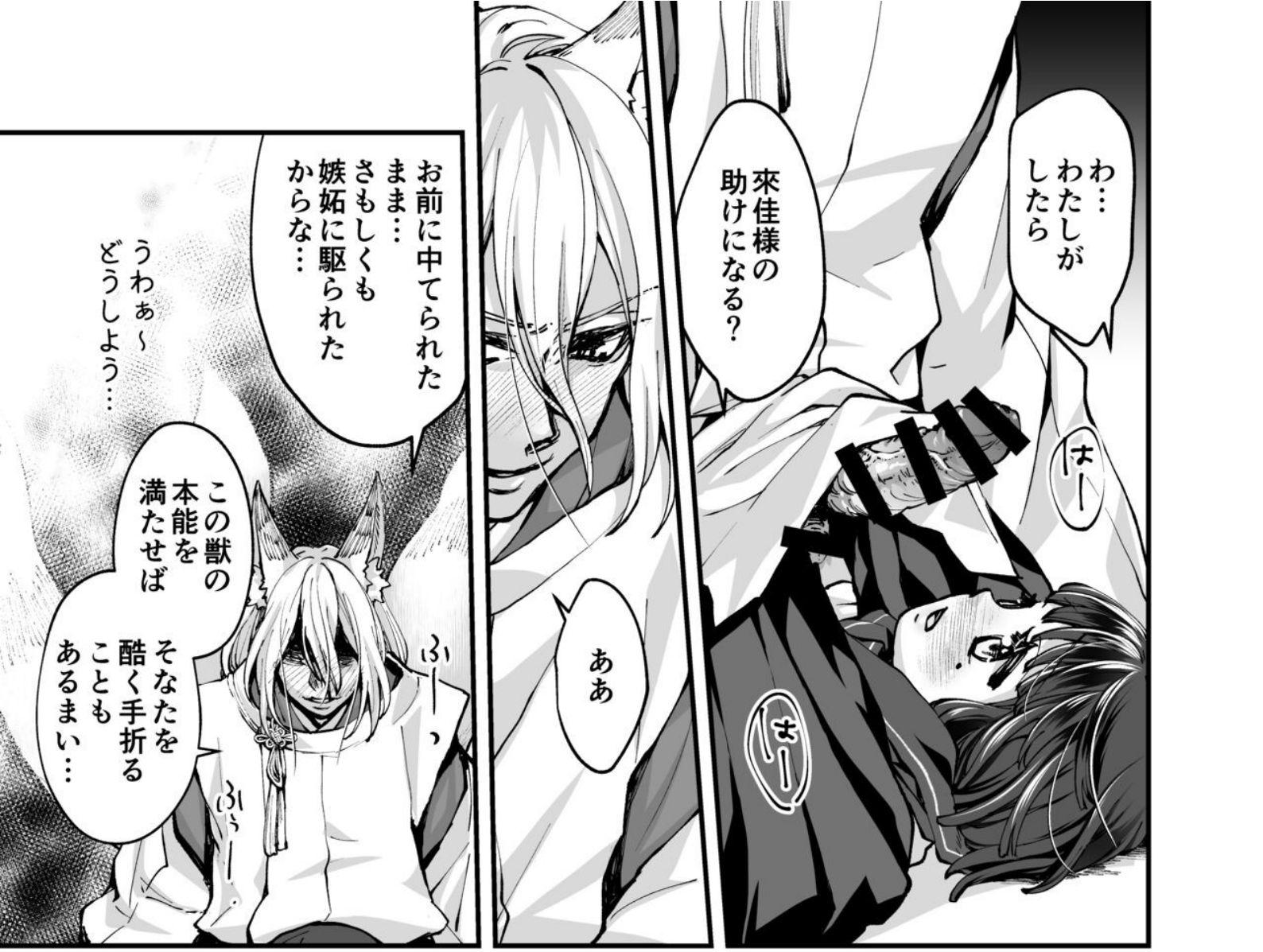
でもね
んっ
結果は同じ…
そうだろう？

松葉はね
わたしをとても
慕ってくれて
いるが
する…
ビクン
君のことも
殊更気に入って
いるから…
よっ
なお
ことりは自分への
執着に鈍いきらいが
あるよね？
もう少し気を
付けなくては…
ぴっ
カリ
カリカリ
カリ
ひう
あっ♥
不味いかも？
そもそもが
人嫌いなのだから
…ねぇ
ぴくん
ぴく♥
びくっ♥
くりくり♥
だからこそ…
あまりアレに
心を預けては
いけないよ
あぁっ

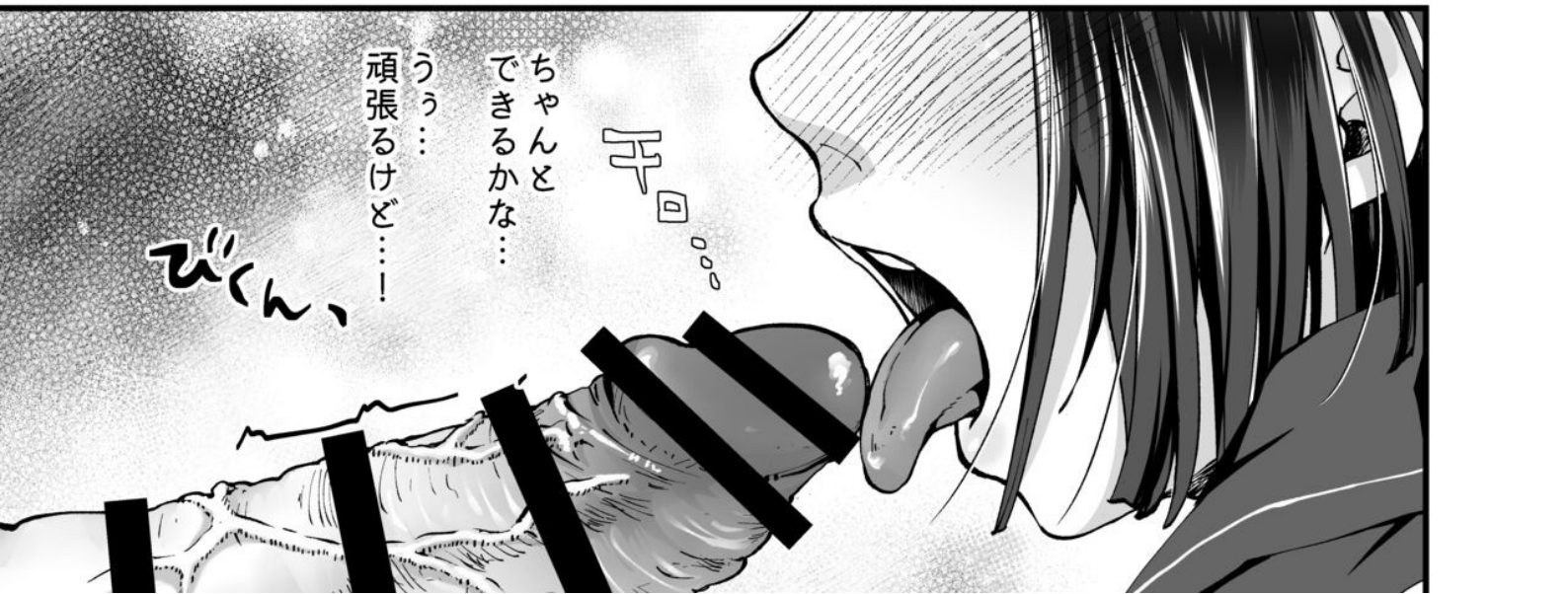
ことりは
なあ…っ
なあーっ
私のモノだろう？


来住さま…
ことり…
ふー
ふー
ことり
すまない
浅ましい私を
許しておくれ…
このままでは
お前を
傷付けて
しまいそう
なのだ
だから

鎮めて
ぼろん
くれないか
のし…
ひぃっ


わ…
わたしが
したら
はー
來佳様の
助けになる？
ああ
はー
お前に中てられた
まま…
さもしくも
嫉妬に駆られた
からな…
ふー
この獣の
本能を
満たせば
そなたを
酷く手折る
ことも
あるまい…
ふー
うわぁ～
どうしよう…

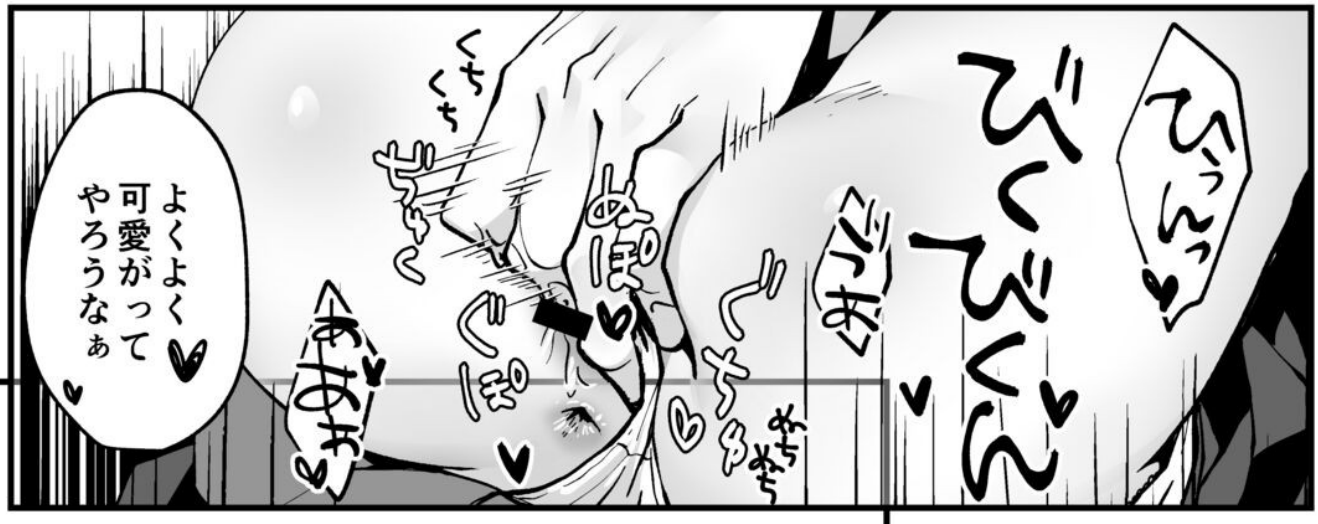
お口でなんて…
初めて
なんだけど
…っあ
はあ
はっ


ちゃんと
できるかな…
うぅ…
頑張るけど…！
ぴくん、

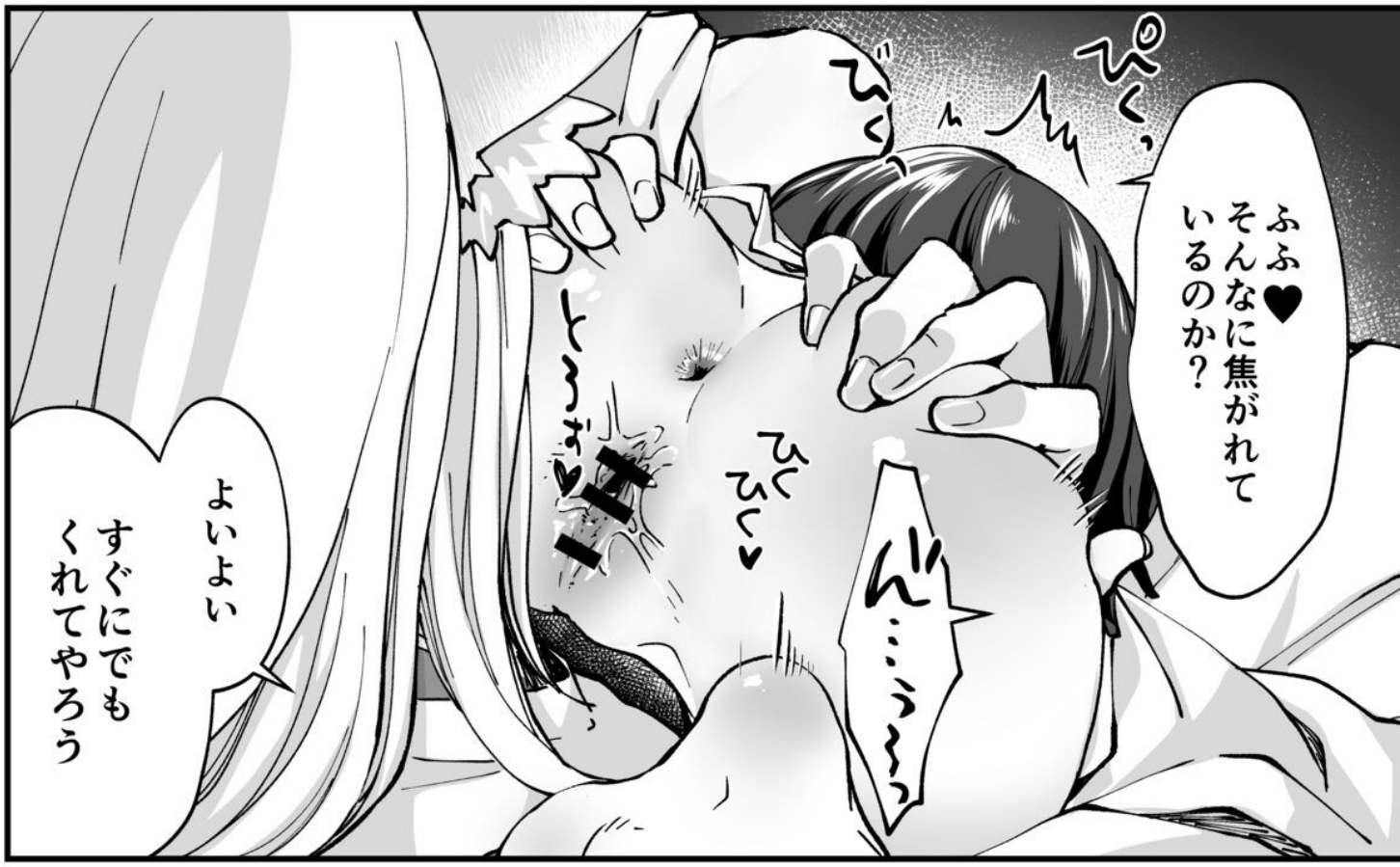
ふ…
っく…
ぢゅぷ
よいぞことり
ぐぽ
懸命に
奉仕して…
可愛いのう
なんと
愛いことか
ああ…
すまぬ
少し苦しいか?
ぐぽ
だがそなたは
口内でも
快くなれよう?
ぬぽ
ぐぽ
ぢゅぽ
ふふ
ぷっくり
慎ましい乳房の先が
こんなに主張して…
ふにっ
ふにっ
んっ
ピン
んぅっ

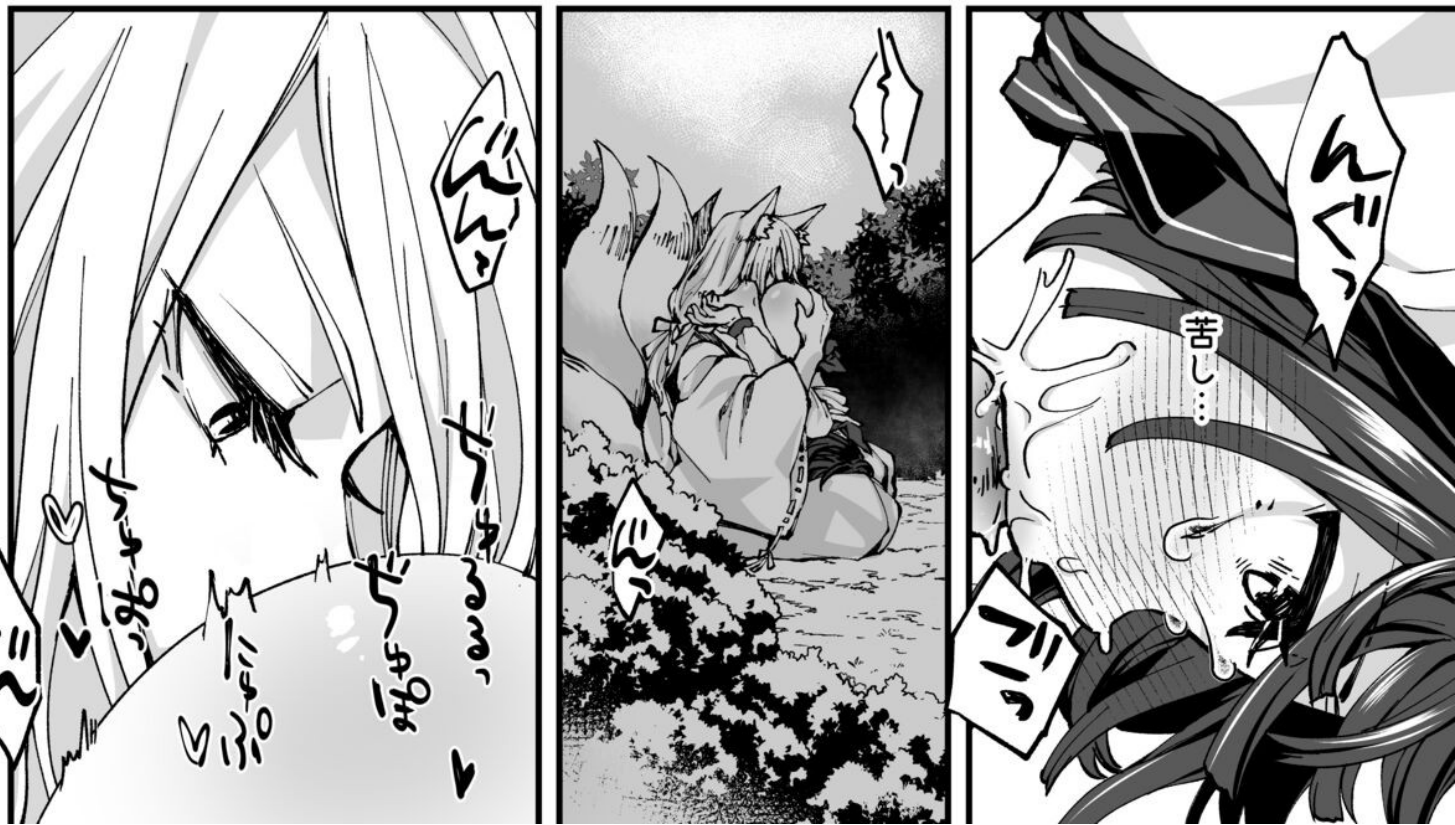
息が…続かな…っ
ふぁ
ふぁ

あぁ…
ほんに愛い…
我の魔羅を
吸うて
こうも女陰を
濡らすか…
ふふ♡
これは
報いて
やらねばな
ぴくん
ぴく
ぴく


ひぅんっ
びくびくん
よくよく
可愛がって
やろうなぁ

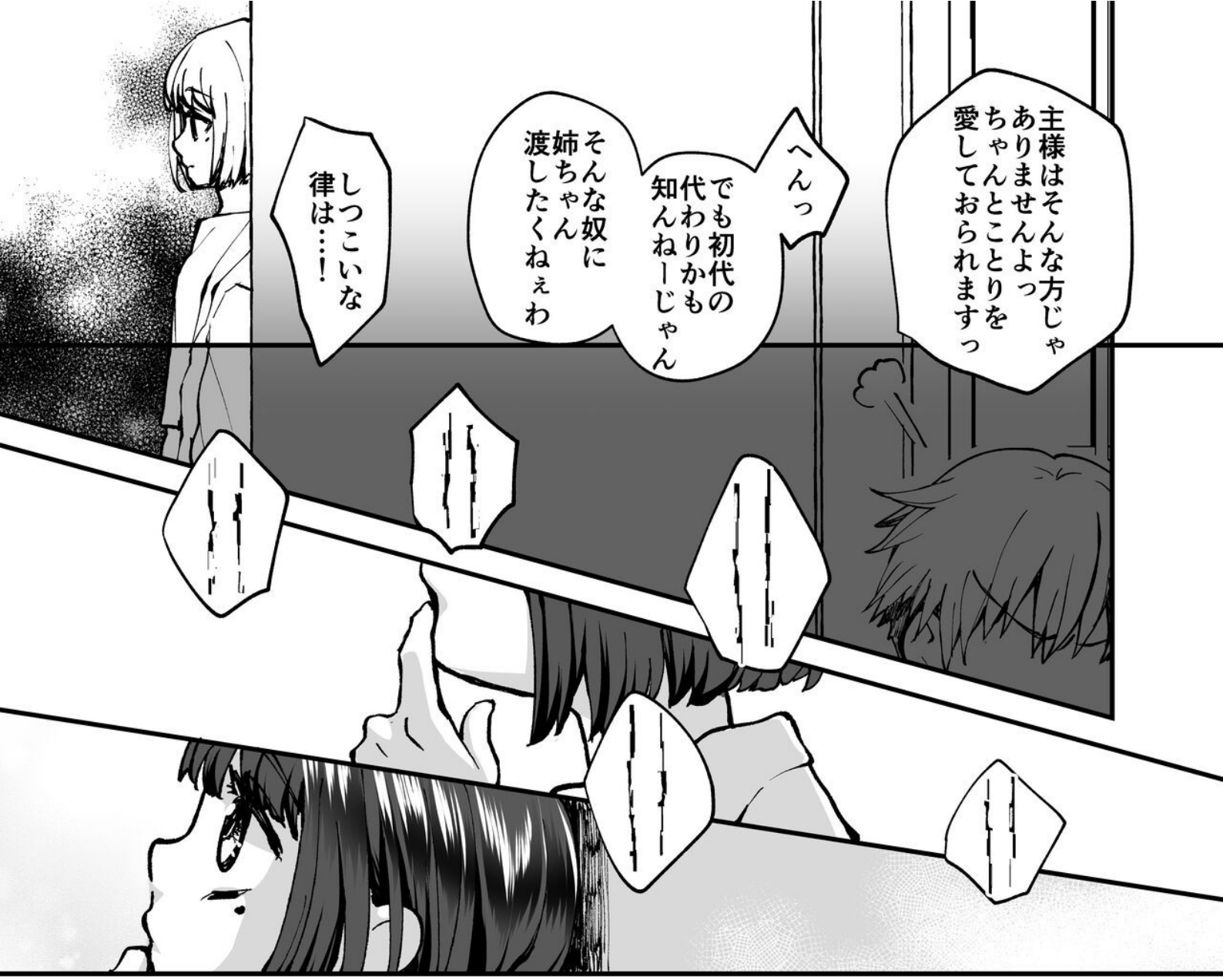
びくんっ


ふふ♥
そんなに焦がれて
いるのか？
ぴくっ
びくっ
とろ～ず♥
ひくひく♥
ん…う～っ
よいよい
すぐにでも
くれてやろう


んぐっ
苦し…
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ

ぢゅるるる
じゅぷぷ
ちゅく
にゅく
くぽ
んぐっ
じゅぽ
ぐぽっ
なんで……
こんなに苦しいのに
…ふわふわするんだろ？
ぐぽぉ
ごぽぉ
まずい…！
ぷしゅっ
っは…
潮が漏れてきておるぞ♡
ぐっ
!!
あぁっ
すまない
ことり
ぐったり
ぶるぶる…
あぁあ
ことり!!

あれは一体何をなさっておいでで？
儀式まで自分を鎮めるんだってよ
姉ちゃん気絶したらしーしな
はぁ…
ことりはまだ幼いですし…時期尚早ではありませんか…？
あと十日などと…
オレだってそう思うけどさ本人が大丈夫って言うから
……なんで
何で姉ちゃん何だろ
普通の…
なんの取柄もねぇどんくさいのじゃ来佳さまの嫁なんて務まんねーだろ？
仕方ないでしょう主様がお望みなんですから…私だってどうかと思いますよ
てか普通に疑問なんだけど…何で來佳さまは姉ちゃんがいいんだ？
えーっと…確か
魂が似ているそうですよ…
ほらあなた方の祖先の…
えっ何だそれそんなの誰でもいいのと同じじゃねーか
つまり初代のこと好きだったのか？來佳さま…
うわー
何ですか！
さいてー


主様はそんな方じゃありませんよっちゃんとことりを愛しておられますっ
へんっ
でも初代の代わりかも知んねーじゃん
そんな奴に姉ちゃん渡したくねぇわ
しつこいな律は…！

初代様？

來佳様の一番が私じゃないかも…なんて考えたこともなかった
注がれる愛情を今更疑ったりはしないし…
私が來佳様を大好きだって事も変わりはしないけど…
あ
初代様は來佳様の事どう思ってたんだろ…？
ガチャ

初代様と來佳様ってどんな関係だったんだろ？
きっと仲良しだったよね…
それに――…
私…もしかしたら來佳様の事全然知らないのかな
なのに…それなのにあと九日も会えないの？
ボフン
れんしゅう――しなきゃ…
すり…
あ…
來佳様の匂いがする
來佳様…
ふ
はっ
はぁっ
私の部屋…
來佳様の匂いでいっぱいだよ
ん
すりすり
にこにこ
んぅ

はぁ…
ふぅ…
ふぅ…
んっ
くりとりす…
いっぱい、
なでなでして……
はぁ
えっちな音、
してきたら…あっ
指を入れてぇっ
気持ちいい――
気持ちいい――……っ
あ
あ
あ
あぁ
あぁ
あぁ
ん
慣れてきたら
ふぅ…
ふぅ…
指を、増やす

気持ちいい、は……
ふぁ
お腹に……あつめる……
ちゅく
くちゃ
ぐぽ
ぬち
ちゅぽ
ぐち
ふー
あ、あぁ來佳様
んっ
ぐぃ~
気持ち良い…
気持ち良いよぉ…っ
あ
ふ
ちゅぽ
ぬぽ
ぐぷ
ちゅく
ん…んんぅ~っ
んっ
びくっ
びくんっ
はー
來佳様…
私ちょっと不安かも
は
はぁ
傍にいると色々と支障が出るとかで神域に籠ってしまった來佳様に
会えないままに日常は過ぎて…
長い長い十日が終わった

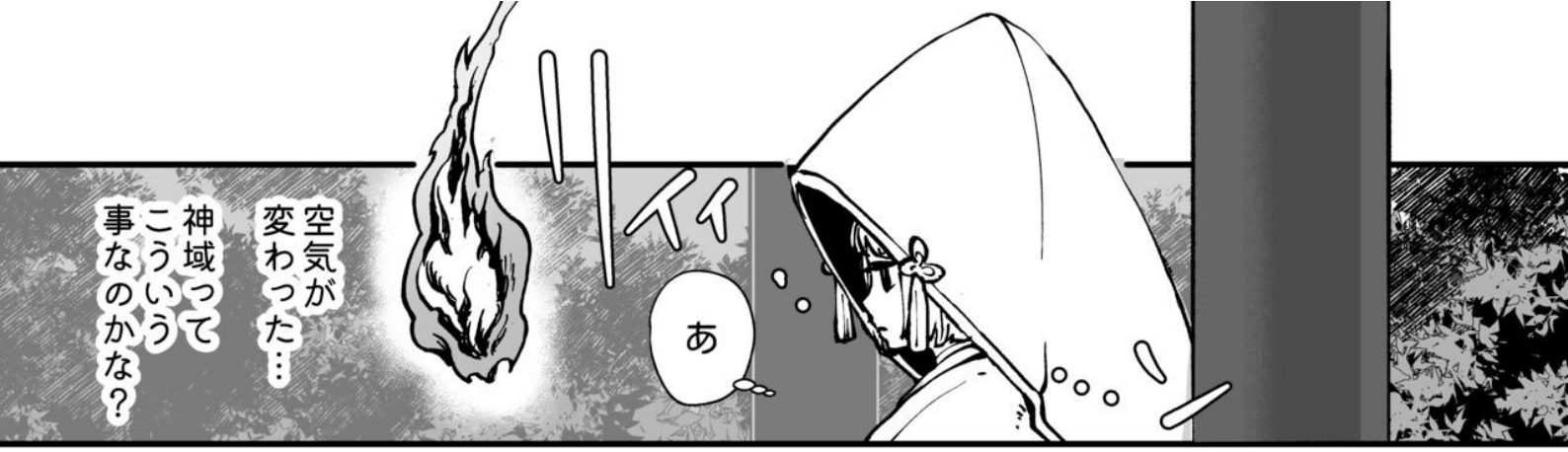
あらあら
立派に花嫁さんだわ
…もう本番なのねぇ

馬子にも衣裳だな
律は仕方ないわねぇ…
綺麗よことり
しっかりお勤めするのよ…
う…うっ…それじゃあことり…
裏の鳥居を潜れば來佳様の神域に通じてるからね
……無理はするんじゃないぞ…

じゃあお願いするわね
ええ…承っております

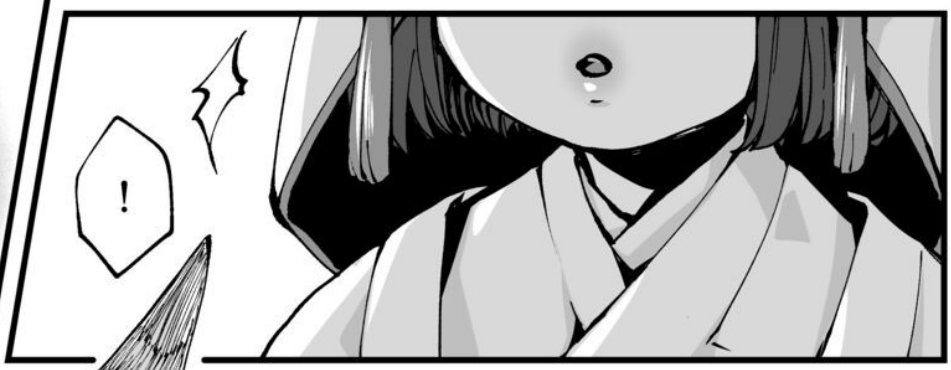
それでは行きましょうか
境界まではこの僕が
案内させていただきます

分かってはいるでしょうが
主様から呼気を頂くまで言葉を発してはいけませんよ
狭間から戻れなくなりますからね
ことり…貴女はまだ幼い
不安なこともあるでしょう
我ら眷属は貴女の味方でいます…
だから…自信を持ちなさい
――ことり
主様を…來佳様をよろしくお願いします
松葉君ありがとう…
着きましたよ
ここからはあなた一人で行きなさい
大丈夫
主様が貴女を無下に扱うようなことはあり得ません


空気が変わった…
神域ってこういう事なのかな？
あ

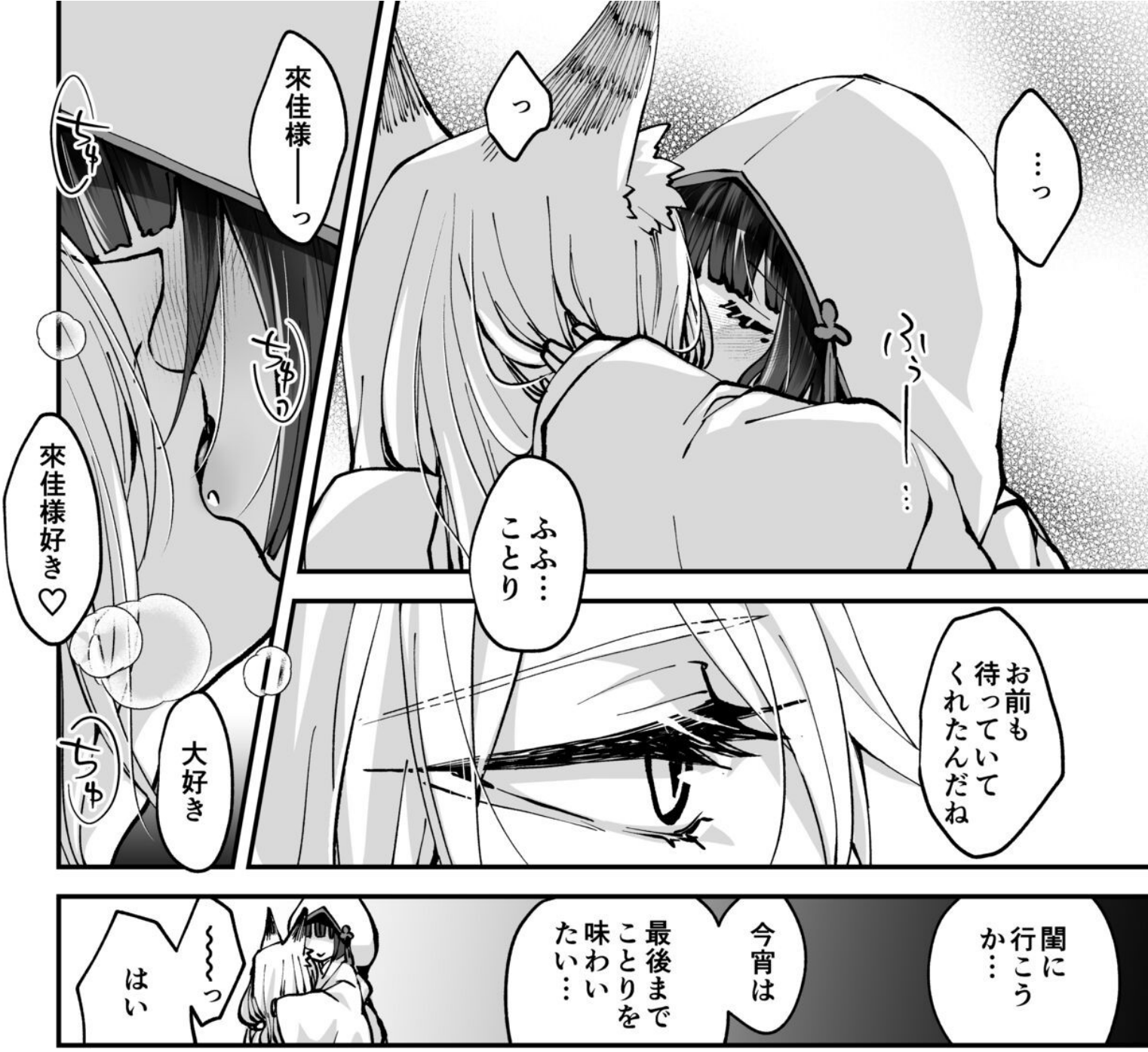
数日考えたけど全然考えが纏まんなかった
結局私に分かったことなんて
來佳様がいなきゃダメになっちゃうってことくらい

來佳様
——とり…——
ねぇ來佳様
たった十日がこんなに長かったんだ


！

だから私
ことり!!

來佳様と一緒に居られるなら何でもいい
待ち侘びた…


…っ
ふぅ――…
っ
來佳様――っ
ちゅ
ちゅっ
來佳様好き♡
ふふ…ことり
大好き
ちゅ
お前も待っていてくれたんだね
閨に行こうか…
今宵は最後までことりを味わいたい…
はい
〜〜っ

はあ
はあ

はっ
ん
ん…っ
來佳様
あのねっ
うん？

ふぁ
する…
私…
大事に
するからね！
初代様の
分まで
全部丸ごと
ん？
來佳様を
愛するよ
んん？
まてまて
初代？
何の話だ？
えー？
來佳様の
初恋が
初代様でぇ…
!?

…何故そんな誤解が生まれたのかな？
違うんです??
ふふ…あやつに恋か…奇異なことを考えるものだ
すぅ…
あっ…
ちゅるるる
にゅく
お♥
私が
恋をしているのは
ぺろぺろ
ことり…お前だけだよ
ちゅ♥
わっ
ひぃ
カプカプ
っ
ふに♥
それにしてもまだ私の気持ちを疑っていたのか？
ん
カリ♥カリ♥カリ♥
困った子だね
やっぱりことりには『オシオキ』が必要なのかな？
ふぁっ
ビクンビクッ
ぷにゅん♥

あ
それ
やだぁ
くり
こり
だめっ
あっ
だめに
なっちゃう
カリ
ピン
もしかして
乳首で
イキそう?
ビクビク
してる
ふふ♥
いいね
そんなことりを
見てみたい
やだぁっ
ビク
いいよ♥
ほら、
気持ちよく
イこうね…
あ
イって♥
やっ
ビク
は、
んぅう
ね…
イケるよ
ほら♥
もっと深く
やだぁあ
あぁあ
ふふ…
偉いね♥
ちゃんとイけた
ことりは
本当にいい子だ
それじゃあ
そろそろ
びしゃあ
キュン
キュン
中も解して
いこうか…
グイ
ろりぇ
あ…
ぐったり…

大丈夫
痛みなど
一切感じさせ
ないよ…
きゅん
きゅん
しっかり
慣らして
忘れられない
初夜にしようね
あ…
恥ずかし…っ
來佳様
こんな…っ

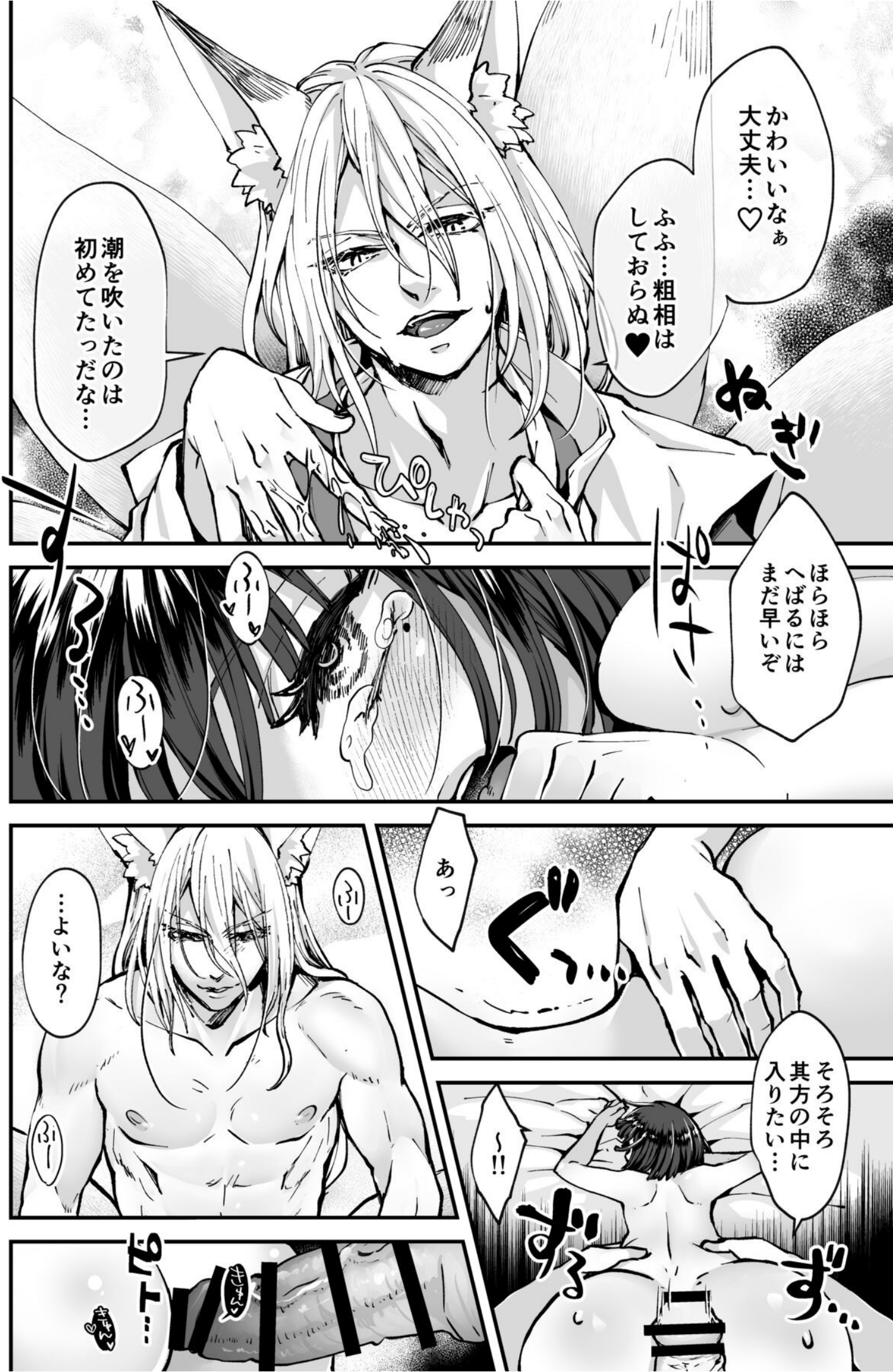
ふふ♥
綺麗な色を
してる…
なのに
欲しそうに
蠢いてる
ぱぁ
く

あっ
その望み…
叶えて
あげなきゃ
…ね
広げないでぇ
れろ〜と
ひぅ

はっ
ん…
じゅぷぷぷ♥
ぢゅぽ♥
やぁっ

んっ
だめっ
ぢゅく
ぐぽ
ぢゅぽ
びくびく
あぁあぁぁ♥

は、
ぬちゅ
ぬちゅ
ちゅぱ
どんどん溢れるな…
少し激しくするよ
気持ちよくて全然力入んない…っ
びくびくっ
びくんっ
びくんっ♡
ああっ
はぁ♡
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐちゅ♡
ぬちっ
だめ…こんなのぉ
きゃん♡
ぐちゅ♡
ぬこぬこ
ちゅこちゅこ
あっあ♡
ちゅこ
くりくりしないでぇ♡
おや
こんなに喜んでいるのにダメなのかい？
だめっ♡
よぉ
あぁぁ♡
ぐぽ
だめぇっ♡
ぐぽ
もれちゃうっ
は


かわいいなぁ
大丈夫…♡
ふふ…粗相は
しておらぬ♥
潮を吹いたのは
初めてたっだな…
ぬぎ
ぴしゃっ
ほらほら
へばるには
まだ早いぞ
ふー♥
ふー♥
ぐっ…
あっ
そろそろ
其方の中に
入りたい…
ずっ…
ずるっ
~!!
…よいな?
ふー
ふー
ぐぐぐ…
きゅん♥
きゅん♥

あ
ぴくぴくぴく♡
お゛っ
はいってき…
ぬぷぷ
あぁあ~

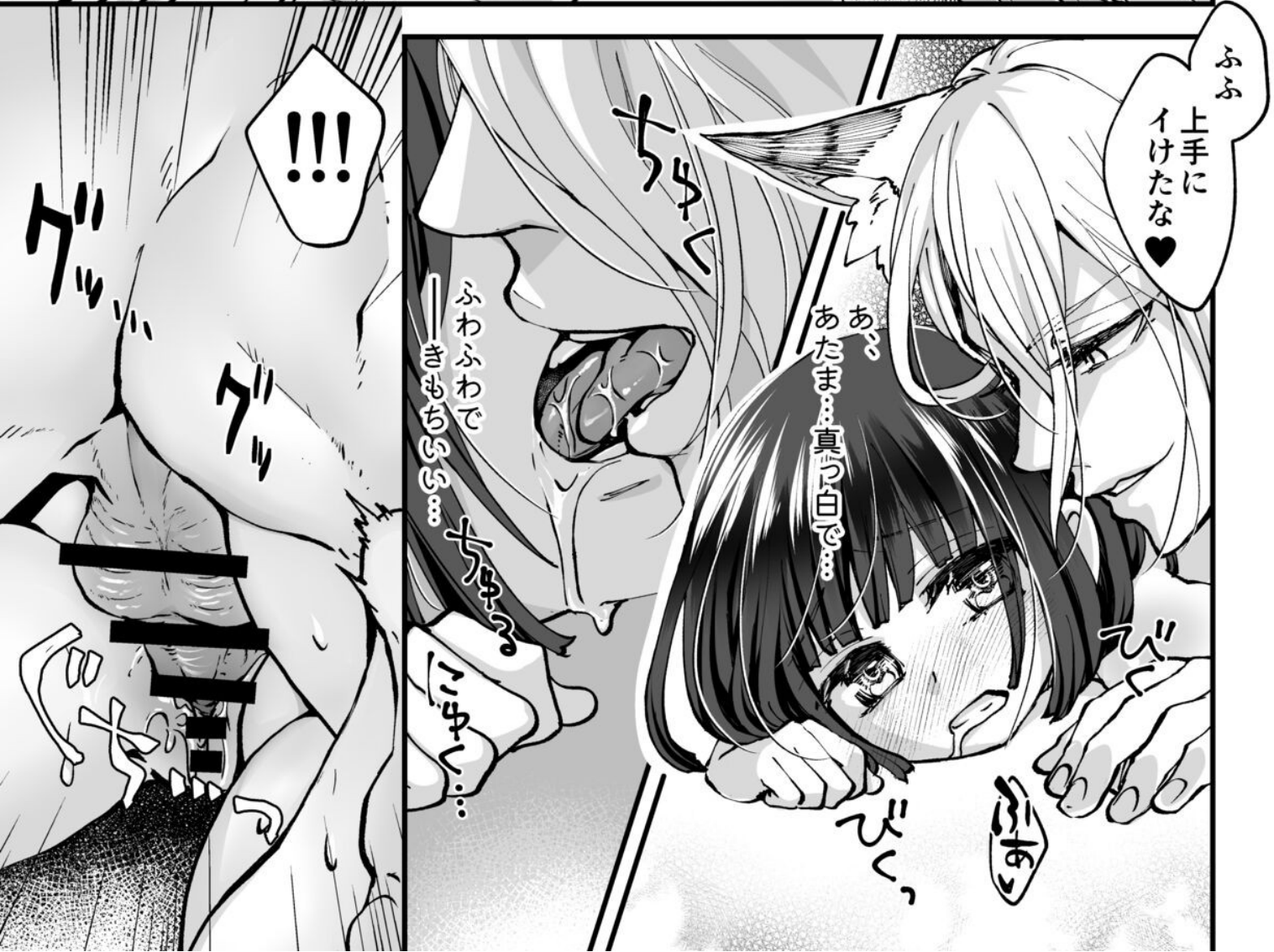
…締まるっ
ことり
はぁーっ
ふはっ♥
入れただけで軽く達したのか？

あぁ
愛いのう…
バチュン
バチュン

あ、
ぱちゅ♡
ぱちゅ♡
きゅん♡
きゅん♡
あ・
ほんに喰ろうてしまいたい…
はぁ
はぁ

そら♡
ずるぅ
〜っ
ぞくぞくぞく
いくらでも気をやれば良い
たん
あっ
んぁっ♡
この日の為に高めてきたんだ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ほら…腹に快感が集まる
気持ちいいなぁ？
タン
タン
いってことり
ほら
イけ♡
いっ
あっ
おぁ
がく
がく
イけことりっ
ぱちゅ
ぱん
ぱちゅ
ぱん
あっ♡
ぱちゅ
ぱん
ぱちゅ
ぱん
とん♡
とん♡
ビクビクっ
良い子だ
チカ
チカ
おぉ

ほら
イけ♡
ぐあっ♡
あ
おおおおぉ～～っ♡
ガク
ガク
ガク
びくん♡
びくびく♡


ふふ
上手に
イけたな♥
ちゅく
あ、
あたま…真っ白で…
ふわふわで
きもちいい…
ちゅる
にゅく…
びくっ
びくっ
ぶあ
!!!
グッ
グッ

なんでぇ？
まだ
するのぉ？
可愛いのう
ことり
っ
気付いて
おらぬのか？
我はまだ
達して
おらぬぞ？
あ
じゅぷ
ぬぽ
お
やあ
ぢゅぷ
我は
狐だからなぁ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
達する際には
あ
根元が
膨れてな…
そうそう
抜けは
せんのだ
やぁ
とん
こわい…
ふふ
安堵せよ♥
少々量が
多くて…
時を要する
だけじゃ♡

…っ
こうなれば
激しくは
動けぬが
中を刺激は
できるからなぁ
ほら
ことりの
「気持ちイイ」が
集まるココ…
よくよく
弄ってやろうな
ぬちち…
グリグリ
みちっ
おっ
っっっっ
とん♡
とん♡
こすこす
くりくり
くぷぷ
スプ
そんな一緒にしたら…っ
イっちゃ…!!
良いぞ
イけ♥
堕ちよ♥
もっと
淫らな姿を
見せておくれ
こり♡
こり♡
こり♡
おおお♡
またいっちゃう♡
カクカク
あぁ…
愛いのぅ…
スププ
くぷぷ
ぬちっ
ぐちゃ
くぷぷ
ほんに
我の妻に
相応しき
愛らしさよ…
スプ

ちと動かすぞ…
ふはっ…抜くまいと吸い付いておる
ひ
クリイツ
其方の中…ぐねぐねと絡みついて…
はぁー
はぁー
あっ
ぞくぞくぞくぞくぞくぞく
あっ
ぬっち
ぬち
ぬち
ぐりぐりぐりぐり
あぁあ…何これダメぇ…っお腹の中がぁ……!!
ふふ♥はしたないのう…ことり
おぉおぉぉ♥
ぐりぐりぐりぐり
きゃん
おや…また気をやったのか?
そんなにコレが好きか?
あっ
ぐりぐりぐりぐり
好き…

おっおっおぁ
ゆさゆさ
ゆさゆさ
好き♡すきぃ
はしたなくてごめんなさい
ぬぷぷ
ぬち
びくびく
あっ
ドン
ビクン
ひぅ
あ…あ
気持ち…イイよぉっ
どくどくどく
グイッ
ぐちゅ
ぬちっ
ずぐずん
どゆどゆどゆどゆ
あぁこんなにきゅうきゅう締め付けて…
あぁっ
ゆさゆさ
おっおっ
ぬち
ぬにゅ
ぐち
んうっ
そんなに欲しければ沢山注いであげようなぁ♥

んおぁぁぁぁ♡
ヒュッ
ヒュッ
ヒュー♡
ドプッ
ドピュッ
……っ
すまぬが
このまま
暫く出続ける
からな……っ
……ことり
ああっ
またもや…
何という
……っ
くっ…
止まらぬ
のだ
すまぬ
ことり……っ
どぴゅ
びゅっ
どぴ

ん
…っ
らいかさま…？
！
サラ…
もう…
らいか様
…寝顔は見ちゃ
ダメだって
ふふ
すまない
愛らしくて
ついな
ん、
大丈夫です
その…
儀式はあと
2日あるが
本当に
大丈夫か？
くん
くん
ぐぐっ

だ
大丈夫!!
ちゃんと…
ちゃんと
來佳様の
お嫁さんだって
皆に認めて
もらいたいから…
松葉君とか…
…律とか
他のいろんな
神様とかも…
明後日の夜
2人で
三日夜の餅
食べようね
鳴呼…
なんて
愛らしい――
だから
大丈夫だよ
來佳様
！

あぁ
可愛い可愛い
私のことり

こんなにも全身で
愛を伝えてくれる…

この日の為だけに私は…

この子が
生まれ落ちた
その日から
ずっとずっと
愛の芽を
育ててきたのだ…

お前達が信じる
この地の成立ちが
偽りだと知ったら
お前はどんな顔を
するだろうか

災害を齎した妖を
土着の神と共に
この地に封じたのが
お前達の祖先…

そしてその妖こそが
私なのだ

強い力を有する私を
完全に封じることが
出来なかった男は
土地神を立ち合いとして
賭けを持ち掛けた

これから
我が一族が
其方をこの地に
封じ、祀ろう

其方が真に心を預けられる
相手の心を手にしたならば
此処から解放してやろう

八封印

はは

案外俺の
子孫からお相手が
出るやも
しれんぞ

うつけめ

そんなわけ
あるまいよ

そして

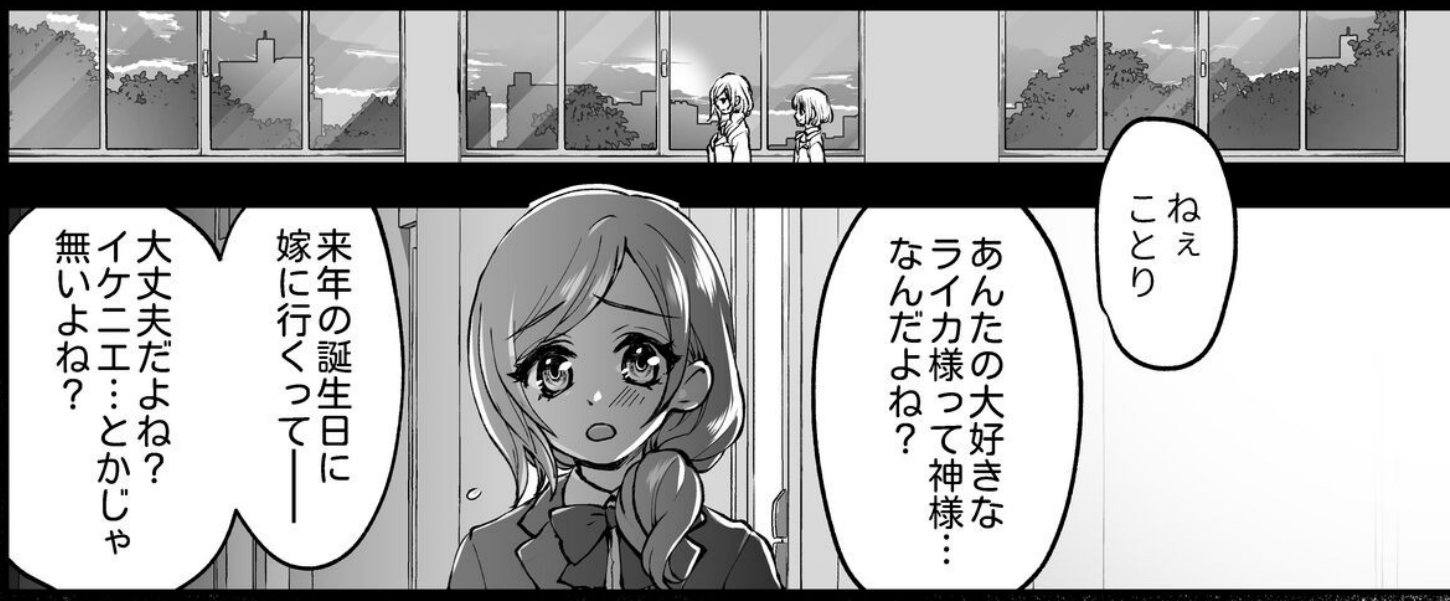
一目見た瞬間に
理解した
…この子だと
ポロ
ポロ
…私は
この子に
出会う為だけに
この世に生を
受けたのだと
お前の成長を
見守ることが
出来る幸福
賭けなど
脳裏に
残る事もない
この子さえ
居れば
他の全ては
細事でしかない

こんなか弱き脆弱な童が
私を守る…
などという
この子の愚かしくも
純粋な心に
接する度に
愛する心に
上限はないのだと
知った――…

可愛いことりを
孤独にしたい
わけではない

そうしたければ
生まれ落ちたその時に
神域へ連れ帰れば
良かったのだから

――それでも



かわいい
かわいい
ことり

全てに
愛される
ことり

それでもね、
ことり
私はお前を
独り占めしたいんだ

お前を愛する喜び
そして
愛される幸せ
それを邪魔させはしないさ
わぁんらいかさまぁこうたくんわたしともう遊ばないってっ
おやおや
かわいそうにじゃがことりには我が居るからな
あれ？皆守に告るんじゃなかったの？
う～んなんか勘違いだったのかも？
なぜか今朝起きたらなんか醒めてたわ
あのね…昨日の事だけど…生贄とかじゃないからね！
えぇ!?
生贄ぇ？私そんなこと言ったっけ？
障害は排除せねばならん

——愛しい私の神嫁——

ふふ
そうだね
私は來佳様の
もので…
來佳様は
私のだね
っ
そうだね…
その通りだ…

この神域で
永遠に過ごそう

愛してるよ　ことり

ことりの先祖に封じられた來佳様は
祀られたことでがっつりランクアップ。
その後なんやかんやあって土地神の地位に納まってます。

ぶっちゃけ封じられた当時とは比べようもないレベルで
強くなってるので封印は解こうと思えば解ける感じでした。

暇つぶしも兼ねて修行を重ねつつ運命の相手(笑)の出現を
待ってたらことりが産まれてズキュ〜〜〜ン♥

ことりの為にも悪狐にはなるまいと
誰かを直接傷付ける様な悪さはしていない。

が、それなりに色々やらかしてはいる。

ことりは小さいころから
大事に大事に愛してくれる來佳様を
盲目的にそれこそ洗脳レベルで大好き。
だからと言って余裕で反抗もするし
ケンカもするのである程度は健全な
関係を築いている。

因みにちびことりが
ぶん投げてた白ヘビもそれなりに
力のある妖だったりするけど
狐によって守備力ﾏｼﾏｼなことりには
全く歯が立たないのである･･･。

最後まで読んでいただき有難うございます。
來佳様の裏事情のあたりが駆け足になりすぎて色々残念ですが
描きたかったイチャイチャは描けたので満足！
…といいつつ、もっと尻尾とか管狐とか色々やりたかったなぁ…

揚げ浸し：巾着玉子
Twitter ：@kincyakutamago